



小野寺 唯 / Yui Onodera

プロデューサー / クリエイティブディレクター / サウンドアーティスト

www.critical-path.info

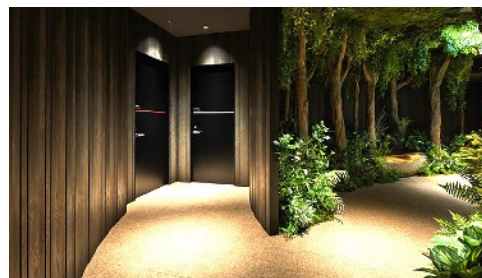
岩手県生まれ。音楽と建築を学び、建築音響設計に従事した後、国内外の映画/舞台音楽、CMからプロダクトサウンドデザインなど幅広い表現領域のプロジェクトを手掛ける。デジタルテクノロジーによる空間を通じた新たな音×体験の社会実装を主とした都市/建築空間における「環境デザイン×ブランディング」としてのサウンドUXの企画制作/プロデュース/クリエイティブディレクションを手掛ける。主なプロジェクトに、「ウイズ原宿 資生堂ビューティ・スクエア」、「渋谷スクランブルスクエア mixiオフィスエントランス」、「SHISEIDO グローバル フラッグシップ ストア」、「神田スクエア GAME FREAKオフィスエントランス」など。これまでに武蔵野美術大学(映像学科)、立教大学(映像身体学科)にてオーディオアートの教鞭をとる。

主な受賞

- ・ Sound of the Year Awards 2021 | BEST SOUND INNOVATION IN EVERYDAY LIFE
- ・ ADFEST 2019 | MEDIA LOTUS : BEST USE OF AUDIO_SILVER
- ・ ADFEST 2019 | AUDIO LOTUS : USE OF AUDIO SUB-CATEGORY_BRONZE
- ・ Spikes Asia 2018 | Radio & Audio : Silver Spike
- ・ AD STARS 2018 | Data Insights : Crystal
- etc.

テクノロジーが更新するサウンドの未来 (JDN)

音楽を巡る環境はどう変わる? (CINRA)



作曲家/サウンドアーティストとして、デジタルテクノロジーとアコースティック楽器による繊細なエレクトロニックミュージック/アンビエント、サウンドアートの分野で独特の立場を築き、これまでにドイツの名門KOMPAKTやRoom40など世界各国よりアルバムをリリース。海外オーディオ/ビジュアル フェスティバルでのコンサート、Markus Heidingsfelder監督によるジョン・ケージのドキュメンタリー映画『Cage 64』サウンドトラックなど多岐に渡る。主な国際展/フェスティバルに、「Störung Festival (スペイン 2013-15年)」、「res-o-nant (ベルリン・ユダヤ博物館 2019年)」、「Audiosphere (ソフィア王妃芸術センター 2020年)」など。

メディア/ハイブリッドアートの分野にて、アートコレクティブ一般社団法人norを設立。自然/物理化学現象を応用した、空間/映像/音など様々な表現領域における手法と技術の混交によるメディアインスタレーション作品を国内外に展開。主な展覧会に、「Media Ambition Tokyo(六本木ヒルズ)」、「MUTEK.JP」、「CULTURE GATE to JAPAN (羽田空港 第2ターミナル)」、「六本木アートナイト(東京ミッドタウン)」、「NTT inter communication center [ICC]」、「光点国際新媒体芸術祭 FLARE2019 (上海)」など。

nor

主な受賞

- PRESENT FUTURE Art & Technology Star Award 2019 : Installation Star Award
- 第22回文化庁メディア芸術祭 | アート部門 : Jury Selections prize
- ALIFE 2018 | ALife Art Award : Honorable Mention prize